

港地域交流センター 整備基本計画書 概要版

施設に導入する機能(部屋)

- ◆フリースペース
多様な世代が気軽に集まり、自由に過ごせる「たまり場」的な空間
- ◆図書コーナー・閲覧・自習スペース
6,000冊の蔵書 誰でも利用できるスペース
- ◆多目的ホール
誰もが自由に使えて、こどもたちも安全に遊べる空間
- ◆大集会室
跳ね上げ式ステージ,音響・照明設備を備えるホール
- ◆料理実習室
多様な料理教室や食育活動
被災時の炊出しに対応
- ◆会議室
移動間仕切り人数に応じた
レイアウトが可能
- ◆和室
伝統文化の継承 生涯学習の充実
- ◆その他・・・事務室・備蓄倉庫 等

事業全体スケジュール(案)

| | |
|---------|-----------|
| 令和7年度 | 基本計画 策定 |
| 令和8~9年度 | 基本設計・実施設計 |
| 令和9年度 | 事前工事 |
| 令和10年度 | 本体建設工事 着手 |
| 令和11年度 | 本体建設工事 完了 |

『ふらっと来るさ!』
 出会い、触れ合い、学びあう
 みなとっこのセンター(まんなか)に



プール跡地を駐車場として整備
 ↓
 交流センターの利用者と
 体育館利用者が共同利用

地域交流センター跡地部分に
 「ひろば」と「駐車場」を整備
 ↓
 「ひろば」に小学校の西門を新設
 ↓
 交流センター利用者の動線と
 通学路が交差する「ひろば」を
 地域の交流拠点とし複合的な
 利活用を促す

校舎南側の花壇部分を
 共同体験農園として活用
 ↓
 例として、地域住民と児童が共同で
 体験農園として活用する

配置図(案)

新交流センター、現在の駐車場部分に建て替えとし、港小学校の西側に隣接する配置とします。
 交流センターの北側に「ひろば」と新たに学校の「西門」を設け、地域の人々が交わる交流拠点とします。
 この一角は学校施設と地域交流センターが複合的に利用される、港地区の「中心(センター)」に生まれ変わります。

